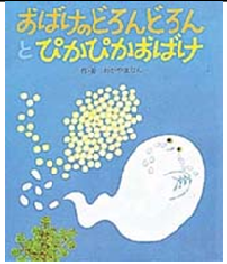




3歳児クラス 8月 第1回 「おばけのどろんどろんとぴかぴかおばけ」

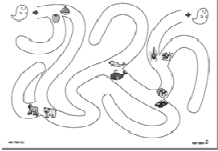
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> おばけの動き、ホタルの動きを軽快に楽しく表現する 「ホタル」は夏のはじめ夜の水辺で光る虫であることを伝え、興味が持てるようにする。 隠れる場面では子どもたちにも「しーっ！」と静かにするように声をかけるなど子どもたちを巻き込みながら場面転換できるよう工夫する。 	教材	
	<p>★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (どろんどろん)</p>	保育士の役割	
導入	<p>保:「こんにちは」とペ-プサートを持って登場。 講:「こんにちは。あなたは誰ですか?」とどろんどろんと会話を広げ「おばけ」の世界に興味を持てるようにする。 保:「これからお散歩いってきまーす」とお話への期待感をもってから始める。</p>	<p>・ペ-プサートを持って登場。どろんどろんになりきり、講師と会話する。</p>	

がくしゅうタイム

活動①	集中力	最後まで集中し、○シールを貼り続けることができる	
設問	<p>「ぴかぴかおばけ」を作りましょう。おばけの線の上にシールを貼って、真ん中を黄色いクレヨンで塗りましょう</p>		
つなぎ	<p>・保:「さみしいな…」とおばけ提示用プリント持って登場。</p>		教材
活動内容	<p>・講:「あれ?誰かとおもったらおばけちゃんどうしたの?」 ・保:「またぴかぴかおばけになりたいなー」 ・講:「そっかー。ホタルさんに会えなくなって寂しいねー。どうしたら良いかな」と子どもたちと一緒に考える。子どもたちからの意見を受け止めつつ進行。「そっかー良いこと考えた」とポケットから提示カード用シールを取り出し提示。見本行動「これを使ったらどうかな。見ててね」とシールを剥がし「♪ピッと取ってびったんこ」と一枚ずつプリントのおばけの線の上に丁寧に貼っていく。途中リズムに乗って油断して線から外れる、シールの間に隙間をあけるなどの間違い行動をしながら「ぴったり隙間なく貼ること」「どろんどろんのために最後まで集中して貼ること」を確認する。</p> <p>・保:講師の間違い行動の度に「あれ?光らなくなったらどろんどろんが泣いちゃうよ」「みんなも教えてあげて」など子どもを巻き込みながら声を掛け、見本行動に注目できるようにする。</p> <p>・保:「ぼくたちもぴかぴかになりたいなー」と配布プリントを持って登場。 ・講:「こんなにたくさん!どうしよう…」「みんなもできるかな?」「最後まで頑張れるかな?」などと問いかけ、子どもたちの意欲を高めるようにする。</p> <p>・保:プリントとシールを配布。 ・子:シールを貼っていく。 ・まずは見守り静かに集中できる環境を整える。 ・子どもの集中が途切れそうな時は「おばけちゃん泣いちゃう」「もっとぴかぴかにしてあげよう」「嬉しいって喜んでるねー」などと個々に声かけ集中が持続できるようにする。 ・貼り終わった子には「もっと光らせてあげよう」と体の中を黄色いクレヨンで塗り時間を調整する。またシールを重ねて貼るなどしてシールが足りなくなった子には予備シールより「おかわり」として適量を渡す。 ・仕上がりには時間の差が出ます。時間がかかってしまう子や思うように進まない子には個々にあわせて補助をする。 ・完成したプリントを見せ合い、最後まで頑張ったことを賞賛。 ・講:「おばけちゃんそろそろおばけの国に帰るんだって。気を付けてねばいばーい」(プリントをめくりP2へ)</p>		<p>P1 P1用E-ワシール 1人1シート 予備シール3シート P1用提示カード 提示カード用シール1シート ★クレヨン</p>
	保育士の役割		<ul style="list-style-type: none"> プリント持って登場 子どもと一緒に頑張って見本行動を盛り上げる 配布プリント提示 プリント、シール配布 クレヨン配布 シールを貼る補助 賞賛 プリントめくり補助

活動②	書く	ルールを理解してゴールまでたどりつくことができる	
設問	「く」のつく絵の方の道を通してスタートからゴールまで迷路を進みましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ？おばけちゃんどうしたのかな？」 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「何だか道に迷ってるみたいだよ」スタートとゴールの位置を確認し、どうしたら迷わず進めるかを考える。 講；「良いこと考えた！見ててね」 見本行動①「分かれ道では「く」ではじまる絵の方に進むとゴールできるよ」とルールを説明。 ②クレヨンの持ち方、紙の押さえ方の基本を確認してスタート。 ③道の真ん中を力強く進む（ゆっくりが良い）。 ④分かれ道ではそれぞれの絵の名称を子どもたちと確認し「く」ではじまる方に進んでゴールする。 子：「おばけちゃんを助けてあげよう」子どもたちも同様にチャレンジ。 時間に余裕のある場合は全員で一緒に指さし確認してからクレヨンで線を引くと良い。また早く終わった子にはクレヨンの色を変えて何度もチャレンジする。 全員ゴールできたことを確認し、花丸やスタンプなどで賞賛。プリントを回収して終了する。 		P2 ★クレヨン 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの理解に合わせて補助 賞賛 プリント回収

数子ヤレ	数	「4こ」の数の操作を理解する	教材
設問	「4こ」のおはじきの操作。 握った片手の中にはいくつの「おはじき」がかくれている？		おはじき
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1：3、2：2など両手に分けて持ち、片方の手の中を見せて数を確認し、もう片方の手に隠したおはじきの数を当てる 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 「4こ」のおはじきを操作しクイズを出す。

